

林いさお通信

ピカイち!!のまちづくり



No.113 来期へチャレンジ!
平成26年9月

林いさお後援会



三芳町長選挙 12月9日告示 14日投開票

来期へチャレンジ!
蒔いた種が芽を出し始めました。

9月三芳町議会定例会は、8月27日から9月18日までの会期で開催されました。本会議では、平成26年度三芳町一般会計等の補正予算、条例改正議案、平成25年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定、財政健全化比率の報告、固定資産評価委員同意などの提案があり、審議の結果すべて原案通り可決されました。

一般質問の中で、菊地議員から「マニフェストの進捗状況や、町長任期が残り5か月を切り、任期後をどうするのかという質問をいただきました。」

4年前、町長に立候補させていただいた時に、マニフェスト「未来開拓宣言」3つの約束7つの挑戦43の宣言を出させていただきました。任期も残すところ4か月余りとなり、このまま各事業が遂行された場合の4年間での評価をさせていただいたところ、約9割の達成になるとの答弁をさせていただきました。

世界農業遺産の認定、スマートインターチェンジのフル化、富士塚土地区画整理事業、新しい給食センターの稼働、第三公民館の竣工、新しい公共交通であるデマンド交通の導入、第五次総合計画の策定と実施など三芳町の未来に大きくかわる

事業が少しずつ動き始めました。これらは、住民の皆さま、また議会の皆さまのご協力をいただき、ここまで来ることができたと考えています。そして、これらの施策や事業を大きく成長させ、花を咲かせ、果実を収穫する仕事が残っています。その使命と責任が私にはあると考えています。

町長の4年の任期もあと4か月余り。住民の皆さまに、今年の12月に行われる町長選挙において、この4年間の実績を評価していただき、次の4年間に向けて審判を仰ぎたいと答弁をさせていただきました。

良樹細根という言葉があります。樹木は広く深く根を張っていれば必ずいい木になります。何事も根の方が先で上の方は後、「根が深ければ葉繁し」とも言います。三芳町は、まさに町を愛する多くの人々によって支えていただいている「良樹細根」の素敵な町、住民力のある町だと強く感じています。魅力あふれ 喜びいっぱい 幸せになれる町。みよしの実現に向けて、皆さまと共に努力してまいります。

ピカいち!
まちづくり
実行中!!



3年半で町は、
活力と魅力が
あふれだしました

1 行財政改革の推進

- 「財政白書」を作成し、財政状況を広く公表
- 「事業の仕分け」を実施、新しい行政評価制度の導入
- 町補助金の公募制を導入し、新しい市民活動に道を開く
- 職員定員適正化計画を推進し、4年間で20名減員し292名に
- 経常収支比率100.5%(23年度)を96.6%(25年度)に
- まちづくり懇話会・出前町長室など住民参加のまちづくりを推進



2 子育て支援、教育

- ブックスタート事業など、子ども読書活動で文部科学省から表彰
- マレーシアへの中学生海外派遣を実施
- 青少年のための自然の森レクリエーション広場開設
- 民間保育所の誘致、第2保育所の耐震改修工事
- 全中学校にエアコン設置、(小学校は27年度に)
- (仮称)第三公民館・学校給食センターの建設に着工



3 高齢者・障がい者福祉、健康増進

- ママのための健康診断を開始
- 胃がんリスク検診を開始
- 高齢者にやさしいまちづくり懇談会設置
- 障がい者との共生社会実現に「あいサポート運動」開始
- イムス三芳総合病院新病院開設支援
- いもっこ体操の推進



4 都市整備、 安心・安全

- 富士塚土地区画整理事業スタート
- 地域防災初期行動マニュアル作成
- 自主防災組織の支援
- 埼玉県初の三芳町消防団機能別消防団員制度発足
- 道路長寿命化修繕計画を策定し、町道を計画的に修繕
- 公共施設マネジメント基本計画を策定



5 元気と魅力の 町づくり

- みよし野菜のブランド化に向けPR
- 三富新田世界農業遺産の認定申請
- 世界一のいも掘りまつり開催
- デマンド交通試行運転開始
- スマートICフル化整備
- 芸術文化のまちづくりへロビーコンサート等の開催



未来に向けて挑戦は続きます!